

令和3年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	定期監査						
総合計画 重点施策	—	組織目標	○	担当部		担当課	監査委員事務局

事業目的・概要
<p>予算の執行等の財務に関する事務又は経営にかかる事業が、法令等に従って適正に執行されているか、経営にかかる事業の管理が合理的かつ能率的に行われているかどうかを検証する。また、事務事業の目的又は目標数値に沿った実績効果があがっているか、最小の経費で最大の効果をあげているかなど、監査基準に準拠し経済性、効率性、有効性を重視した監査を実施する。リスク管理の状況については、各リスクに対する対応マニュアルが作成され、内部統制が図られているかを勘案し、特に現金を取り扱う課においては、現金の保管状況等の確認を行う。</p>

成果指標	単位	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (目標)	R5 (目標)
予算及び運営事務に対する監査を執行した割合	%	100	95.8	100	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>7月 準備調査開始 8月～2月 定期監査を実施 2月～3月 監査結果報告書を作成し、市長等へ提出。次年度の計画案作成。</p>	<p>提出された資料により7月7日から準備調査を開始し、8月11日から令和4年2月1日まで、各課の事業が効率的に行われているか、問題点がないか、リスク管理が機能しているか、現金等が適正に保管されているか等を重視し、定期監査を行った。監査委員との打ち合わせにより、定期監査結果報告書を作成し、3月18日に市長等へ提出、公表した。今年度の監査実施内容の反省点を踏まえ、次年度の監査実施計画を作成した。 当初は24課の実施を計画していたが、1月25日に予定していた保健給食課は、新型コロナウイルス感染拡大対応のため実施できなかった。</p>	<p>B (概ね予定どおり進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	<p>総合的に見て、適正な監査事務が執行できた。 なお、市の財政状況は依然として厳しい状況であるため、今後も監査基準及び監査実施計画に基づき、適法性・効率性・妥当性を重視した監査を実施する。</p>

事業費(単位:千円)	R2(実績)	R3(実績)	R4(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金			令和2年度、令和3年度については、全国都市監査委員会の研修会(広島)が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。その他の出張も中止となったため、監査委員2名分の旅費が未執行となり減額となった。
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	2,352	2,352	
事業費計(A)	2,352	2,352	2,406	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	3	3	3
	業務時間	3,720	3,720	3,720
	その他職員人件費			
人件費計(B)	11,859	11,796	11,781	
トータルコスト(A+B)	14,211	14,148	14,187	

令和3年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	決算審査				
総合計画 重点施策	—	組織目標	○	担当部	担当課 監査委員事務局

事業目的・概要
<p>一般会計及び特別会計について、決算その他関係諸表の計数の正確性を検証するとともに、予算の執行または事業の経営が適正かつ効率的に行なわれているかどうかを主眼として審査を実施する。監査基準に準拠し、定期監査、例月出納検査等の結果を踏まえることとし、決算審査意見書を作成する。あわせて、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類の審査を実施し、財政健全化判断比率審査意見書を作成する。</p>

成果指標	単位	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (目標)	R5 (目標)
決算書の計数及び予算執行に対する審査を執行した割合	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>6月 各会計決算審査及び健全化判断比率審査について市長から依頼 7月 準備調査開始 8月 決算審査及び財政健全化審査を実施。意見書を作成し、市長に提出。</p>	<p>提出された資料により7月7日から準備調査を開始し、8月10日から8月18日まで、関係諸表、各種財政指標、歳入歳出執行状況の計数並びに財産等の状況について、予算の執行実績が合理的かつ効率的であるかを審査した。監査委員との打ちあわせにより、決算審査意見書及び財政健全化審査意見書を8月24日に市長へ提出した。当初のスケジュールどおりに、一般会計及び6特別会計の審査を実施した。今年度は物品等の現地調査は実施しなかった。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	<p>関係諸表の計数審査については厳正な審査が行われた。今後も監査基準及び監査実施計画に基づき、予算の執行実績が合理的かつ効率的に執行されているか、財政健全化判断比率が適正であるかを重視した審査を実施する。</p>

事業費(単位:千円)	R2(実績)	R3(実績)	R4(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金			令和2年度、令和3年度については、全国都市監査委員会の研修会(広島)が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。その他の出張も中止となったため、監査委員2名分の旅費が未執行となり減額となった。
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	定期監査に含む	定期監査に含む	
事業費計(A)	0	0	0	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	定期監査に含む	定期監査に含む	定期監査に含む
	業務時間			
	その他職員人件費			
人件費計(B)	0	0	0	
トータルコスト(A+B)	0	0	0	

令和3年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	財政援助団体等に関する監査						
総合計画 重点施策	—	組織目標	○	担当部	—	担当課	監査委員事務局

事業目的・概要
<p>毎年度4～5団体を対象に、各団体が出資等の目的に沿って事業を適正かつ効率的に執行しているか、監査基準等の関係法令等に準拠した適切な会計処理がなされているかなどについて、監査を実施する。対象団体は、補助金等交付団体(年額500万円以上)、出資団体(資本金の1/4以上)、貸付団体(年額1,000万円以上)、公の施設の指定管理者とし、2年に1回実施する。</p>

成果指標	単位	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (目標)	R5 (目標)
財政援助団体等に対する監査を実施した割合	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
4月 4団体に監査実施通知を送付 5月 準備調査を開始 6月～7月 各施設等にて財政援助団体等監査を実施 7月～9月 監査結果報告書を作成し、市長等に報告及び公表 10月 指摘事項があった団体から措置状況の報告を受け、公表	提出された資料により5月31日から準備調査を開始し、6月28日から7月7日まで、前年度の事業が効率的に行われているか、法令に適合しているかを重点的に監査を実施した。監査委員との打ちあわせにより、監査結果報告書を9月29日に市長等へ報告、公表した。今年度実施の団体においては指摘事項はなかった。 当初の計画どおりに4団体の監査を実施した。なお、取手ウェルネスプラザについてはワクチン接種会場となっていたため、監査委員事務局で実施した。	A (予定どおり 進んでいる)

今後の方向性	
継続	全体的に見て適正な監査を行うことができた。 今後も補助金・貸付金及び指定管理に係る出納、その他の事務が関係法令に準拠し適正かつ正確に、各団体において執行されているかを重点的に、監査基準及び監査実施計画に基づき監査を実施する。

事業費(単位:千円)	R2(実績)	R3(実績)	R4(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金			令和2年度、令和3年度については、全国都市監査委員会の研修会(広島)が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。その他の出張も中止となったため、監査委員2名分の旅費が未執行となり減額となった。
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	定期監査に含む	定期監査に含む	
事業費計(A)	0	0	0	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	定期監査に含む	定期監査に含む	定期監査に含む
	業務時間			
	その他職員人件費			
人件費計(B)	0	0	0	
トータルコスト(A+B)	0	0	0	